

# 米の安定供給と稲作農家の生産意欲向上に向けた 施策の推進を求める意見書

食料安全保障の根幹をなし、日本人の主食である米について、消費者は令和6年夏の市場での品薄を契機に、米の価格や生産現場、生産者に対する関心を高めている。

こうした中、国は、10年に一度の不作や大規模な災害時等に限定していた政府備蓄米の放出に関する運用について、令和7年1月に主食用米の円滑な流通に支障が生じる場合に市場に放出できるよう見直し、徐々に備蓄米が流通するようになってきたところである。

一方、稲作農家を取り巻く環境は、食料・農業・農村基本計画において米を増産する方針を掲げているが、近年の豪雨災害や高温障害などをもたらす異常気象に加え、円安の影響等を受けた肥料や燃料、農業生産資材の価格高騰により厳しさを増し、農業所得の減少が懸念され、本県の生産現場では営農継続の断念や意欲減退の声が広がっている。

このため、稲作農家が将来にわたって意欲的に米を生産し、生産者と消費者が納得できる価格での安定供給が可能となる環境を整備していくことが急務となっている。

よって、国においては、米の安定供給と稲作農家の営農継続を支援するため、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

## 記

- 1 価格や銘柄等の米に対する消費者の多様なニーズを踏まえつつ、食料安全保障の強化に向けて、米の安定供給を確保するための施策を講じること。
- 2 稲作農家が再生産に意欲的に取り組めるよう、安定的な収入確保に向けた施策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年7月1日

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 衆議院議長  | 額賀福志郎 | 殿 |
| 参議院議長  | 関口昌一  | 殿 |
| 内閣総理大臣 | 石破茂   | 殿 |
| 財務大臣   | 加藤勝信  | 殿 |
| 農林水産大臣 | 小泉進次郎 | 殿 |

山形県議会議長 田澤伸一